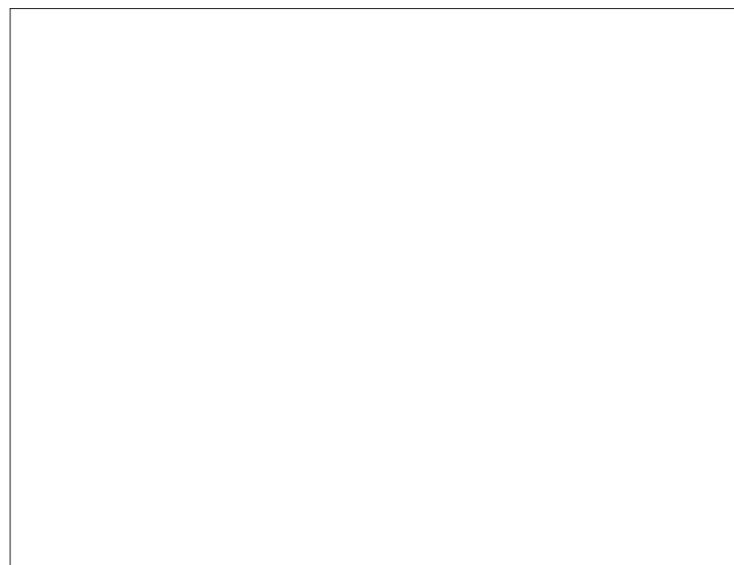


あなたの声をお聞かせください。身近な出来事や町に関する要望・意見など何でも結構です。投稿いただいた中から広報はがへ掲載させていただきます。その際の添削については、ご了承ください。

Horizontal lines for writing a letter or comment.

イラストも募集しています。広報はがのカットとさせていただきますので、濃くはっきりとお書きください。



あなたの声を聞かせてね！ お便り待ってます！



●ため池百選効果

農林水産省が全国から選ぶ「ため池百選」の一つに選ばれた唐桶溜。

齋藤 勉さん



名前を聞きつけた釣り仲間たちが、毎週土・日曜に10人以上（普段は2人ほど）来るようになりました。ひたすら釣り糸に集中する皆さん。花冷えもいとわず釣りの結果談義に花を咲かせていました。（写真は3月26日）

●モラルを持ちましょう

母のナカさん
帰宅中、家が見える所まできたら、隣の人が回覧板を持っていくのを見えました。その人が庭から道に出て、なぜか茂垣の方を向いたので、茂垣に少し、くぼみがあるのですが、そのすき間で立ち小便をしていたのです。もっとモラルを持ってほしいです。

●立志の碑

とらの子さん

久々に母校旧南高根沢中学校（芳志戸。廃校後2年間は芳賀中学校南高根沢教場）跡の横の道路を通ったのですが、当時の面影は跡形もなくなっていました。芳賀北小の子どもたちが元気に野球の練習をしている運動場と隣の商店が目印になって「ここかな」とわかるくらいでした。
中学時代の思い出は40年も昔のもので、おぼろげな記憶しか残っていません。それは有意義な中学時代を送ってこなかったからなのかもしれません。しかし、ここが母校だった唯一の証がぼつんと残っていました。それは、跡地の東端に昭和43年度卒業生

が卒業記念に建立した「立志の碑」でした。この碑の前で当時卒業記念アルバムの写真撮ったことを、ふと懐かしく思い出しました。立志といえば、今の中学2年生は「立志の船」といって、船に乗って北海道へ行きクラーク先生の「少年よ大志を抱け」の碑を見てくるようですが、私たちのときは、立志式を行い、紅白のおまんじゅうをいただいただけでした。けれどもその日は少し大人びた気分を味わったものです。
そいつだった中学時代を思い出させてくれる「立志の碑」を永遠に残してください。

企画課広報広聴係から

「あなたの声を聞かせてね！」コーナーをご覧いただきありがとうございます。投稿については、広報紙面として好ましくないものは、不掲載にしていますが、後日、掲載内容に反対意見や異なったご意見をいただくことがあります。掲載については、今後ともさらなる注意を払ってまいりますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

健康ライフ

増えている認知症

最近、町地域包括支援センターで、認知症に係る相談が目立っています。認知症患者は全国で170万人いるといわれ、発生率は下表のとおりです。芳賀町でも、昨年6月の要介護認定者62人中何らかの症状があり日常生活に支障をきたしている人が64.4%（40人）いました。

全国の認知症患者発生率（H15）

年齢	発生率	
65～79歳	7.1%	100人に約2～4人
80～84歳	14.6%	10人に約1人
85歳以上	27.3%	5人に約1人

もの忘れや被害妄想・興奮・徘徊・昼夜逆転など生活に支障が出てくると家族は疲労困ぱいです。認知症の約1割は治るものであり水頭症うつ・慢性硬膜下血腫・代謝性認知症などが該当すると専門医は話しています。また進行を遅らせたり治療が可能なものは多く、アルツハイマー病・レビー小体型認知症・前頭側頭葉変性症などが該当します。

「歳をとれば誰でもボケる」「認知症は治らない」「ボケれば家で見ろしかない」といったことは今や不適切ともいえます。周囲の人の関わりと環境により、良くも悪くもダイナミックに変化するのも特徴です。

そこで、正しく理解し、より良い接し方を知っていたくため、5月21日に認知症サポーター養成講座を開催します。知識を持つ持たないは大きな違いです。皆さん、ぜひご参加ください。

■健康福祉課地域包括支援センター係
TEL 028(67)6015